

ETJPの今後の進め方について

2006年9月20日
第8回ETJP全体ミーティング

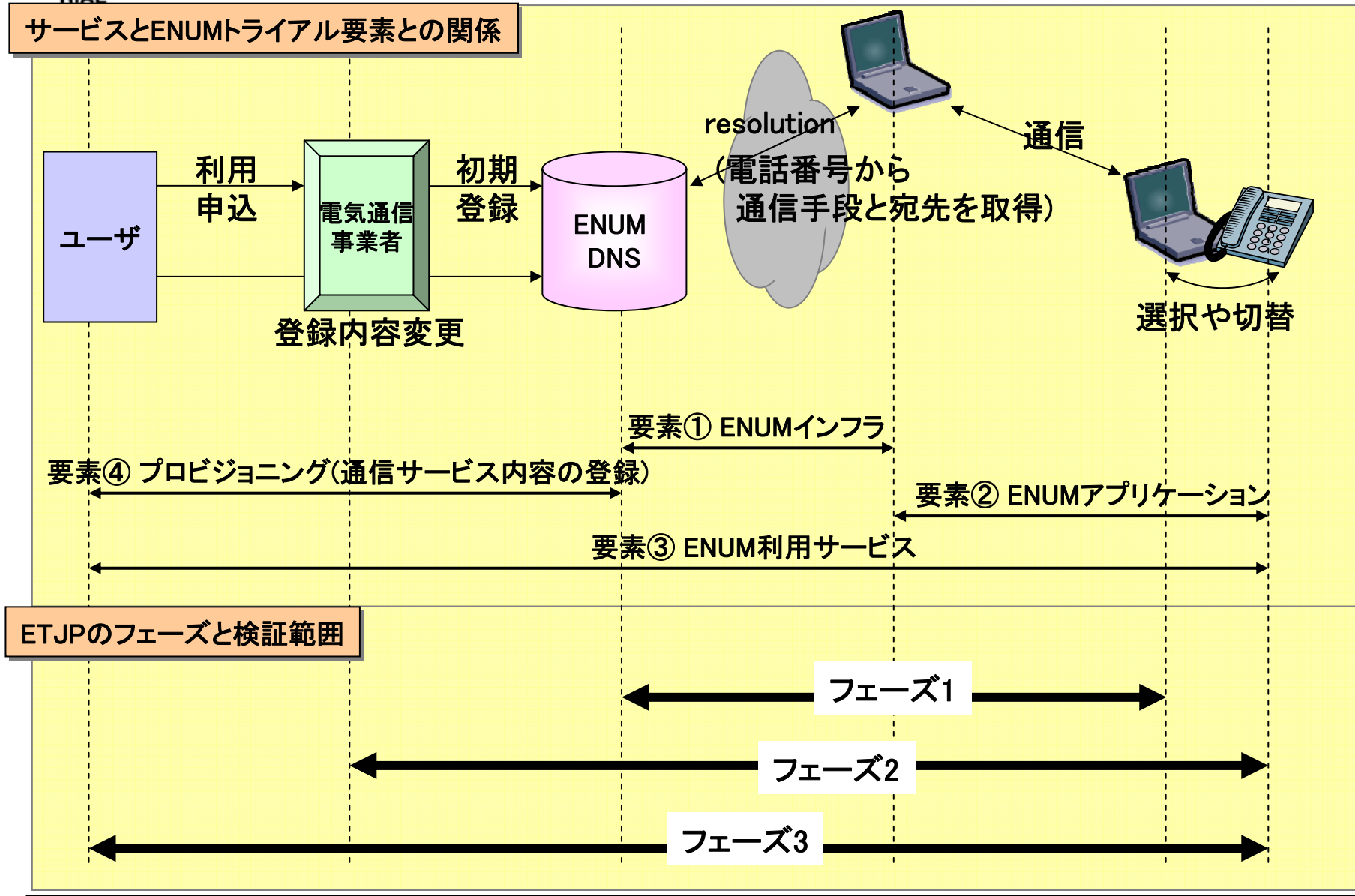
ETJP事務局



目的	最小構成のENUM DNS構築と通信アプリケーション動作の確認	ENUM DNS階層の構築とENUMを用い連携する通信サービスの技術確認	ユーザによる通信サービス契約から通信まで、統合的なサービス連携の技術確認
要素毎の確認事項	<ul style="list-style-type: none"> ①最簡形態のDNSの構築 ②同種通信アプリケーション間の通信 ③なし ④なし 	<ul style="list-style-type: none"> ①階層的DNSの構築 ②異種通信アプリケーション間の通信 ③高度な通信サービスの実行 ④事業者による通信サービス内容の定義 	<ul style="list-style-type: none"> ①ユーザによる通信サービス内容の申請を契機とするENUM DNSのリアルタイム更新 ②異種通信アプリケーション間の通信 ③ユーザまで含んだサービス枠組みの実行 ④ユーザによる通信サービス内容の定義

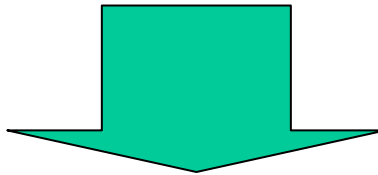
注) ○数字は次ページのトライアル要素○に対応

ENUMを用いた通信サービスの要素と検証範囲



- ETJPの設立
 - 2004年9月末日までの活動を予定して、2003年9月に設立
- ETJPの会員数
 - 設立時の20会員から47会員に増加
- 会議開催実績等
 - 全体ミーティングを7回、報告会を1回、報告書(第1次・第2次)を作成
- 各実験フェーズの状況
 - フェーズ1
 - ENUM DNS、VoIPルータ、SIPサーバ、ソフトフォン、FAX等実績あり
 - フェーズ2
 - ENUM DNSのTier分割とDNSSEC対応、RFIDを使つてのワンナンバー着信等実績あり
 - フェーズ3
 - 2004年9月に「1.8.e164.arpaの委任を受けるなどの状況の変化に対応できる体制を維持」するとして活動を1年間延長
 - 2005年9月に「1.8.E164.ARPAの利用が可能となる予定の状況下、ENUM技術の動向調査・実験・関係者間の継続的情報交換がさらに重要になり、実験の長期化などのケースも考えられる」ことから活動を2年間延長
 - 2006年2月に日本ENUMトライアルの国際実験用番号の割り振りを受ける
 - 事業者間サービス実験、E.164番号を利用する国際実験に着手

- 日本では、ENUMに関する活動が活況を呈しておらず、
- ETJPの活動期限である2007年9月時点までにフェーズ3の目標達成が困難と予測される。 また、
 - 会員がETJPに望むことが変化してきているとも考えられる。



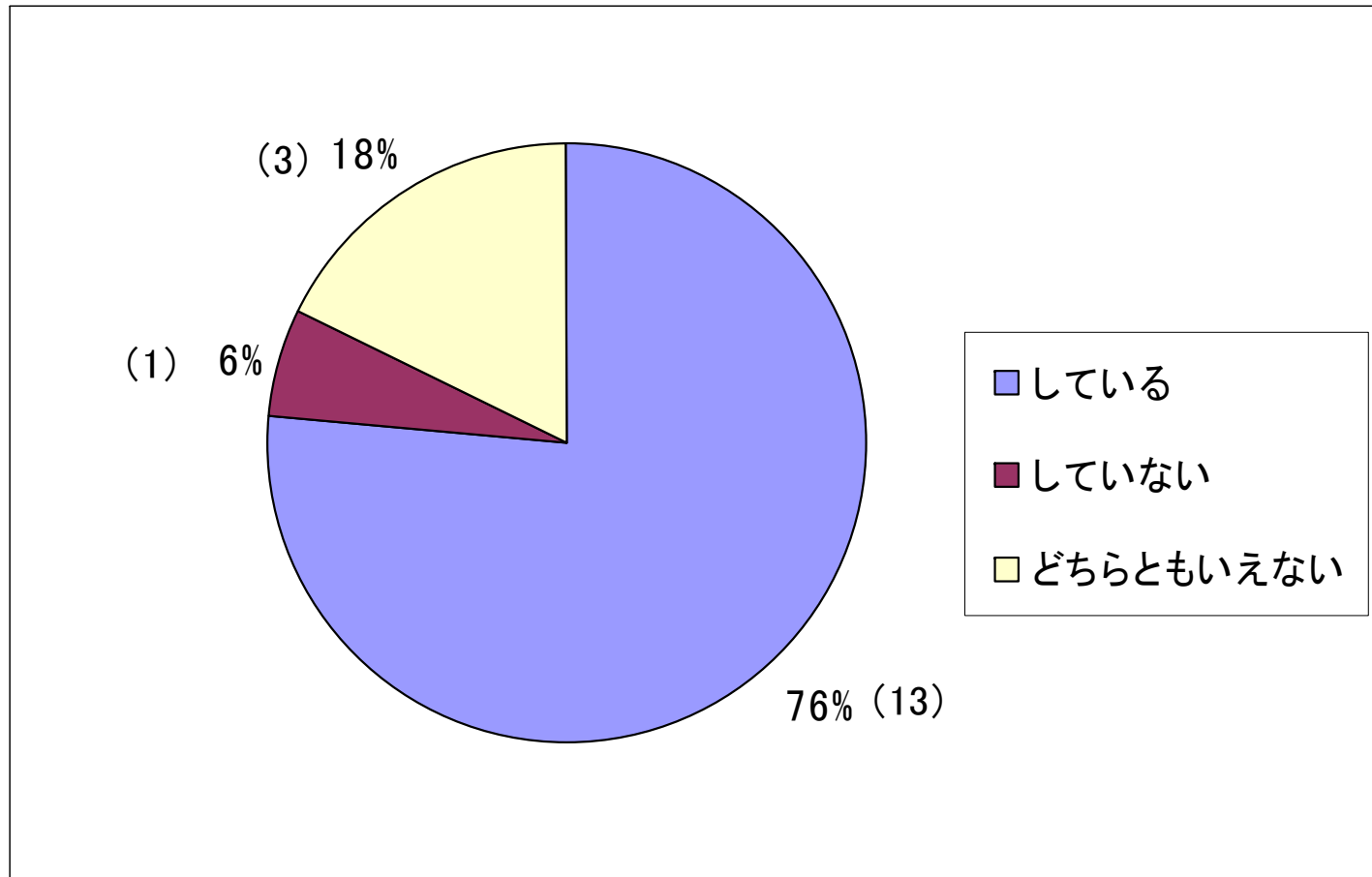
会員の皆様から今後の進め方に関するご意見をいただき、今後についての検討を進めたい

- アンケート結果を情報共有
- 本日のディスカッション

- 目的
 - ENUM技術やETJPの今後の進め方を検討するため
- 期間
 - 2006/8/28～2006/9/13
- アンケート対象
 - ETJP 47会員
- 有効回答数
 - 15会員(17名) [会員回答率:31.9%]
- 調査内容
 - 1.ENUMについて
 - 2.ETJPについて
 - 3.その他

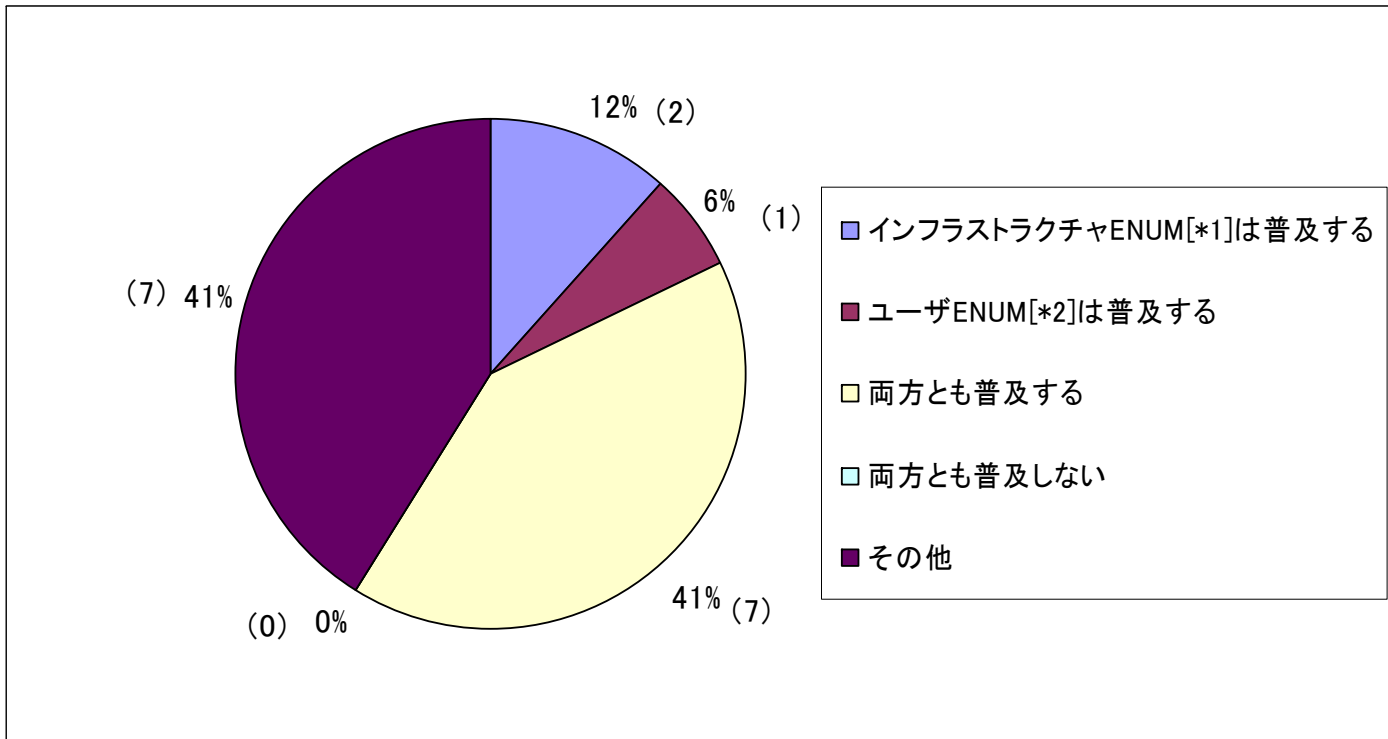
1. ENUMについて

1-1) ENUMへの興味は持続していますか。



1.ENUMについて

1-2) 将来ENUMは普及すると思いますか。



[*1]インフラストラクチャENUM

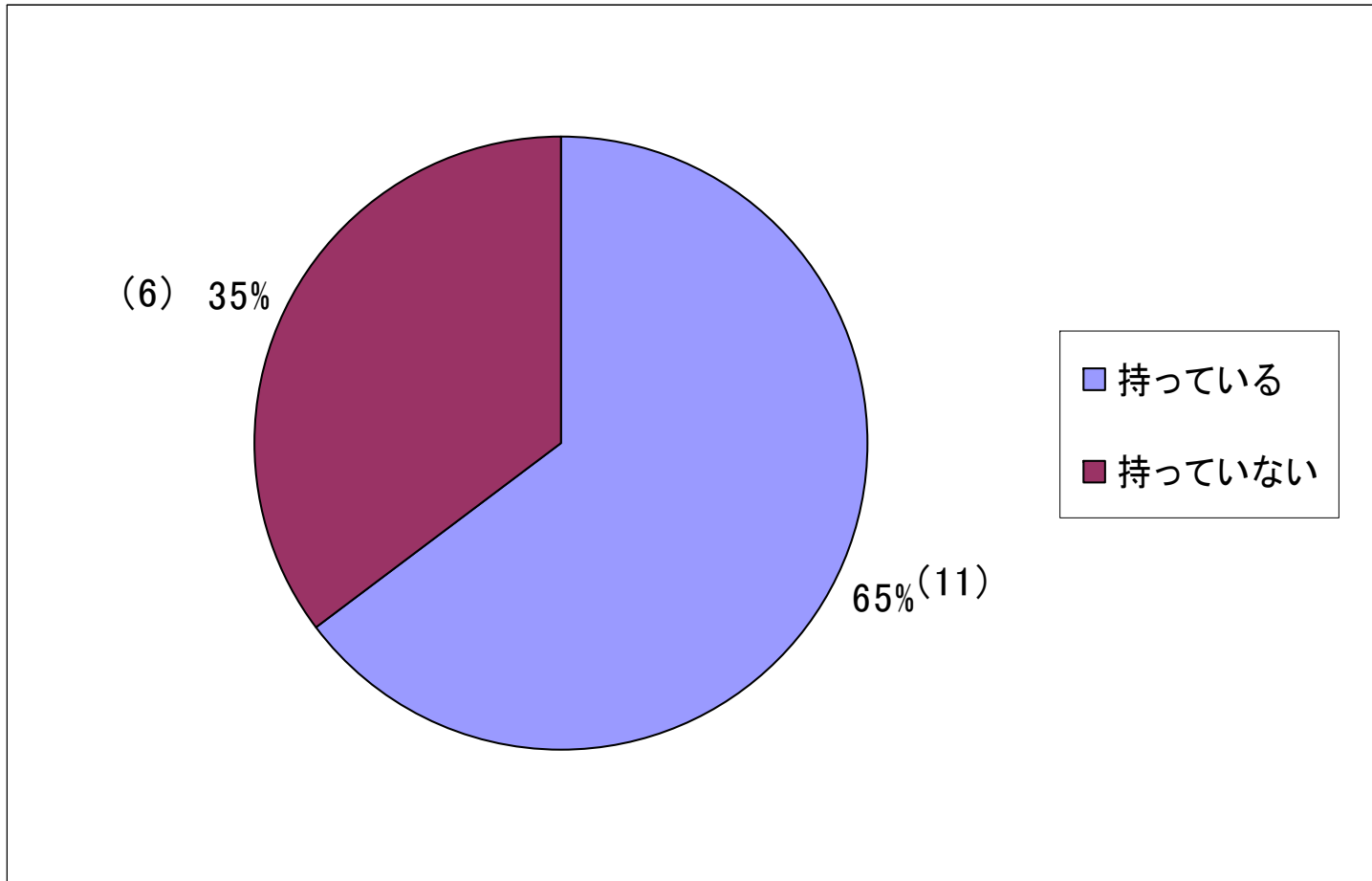
ISPや電話事業者が、事業者内または事業者相互間の経路制御のために用いるENUMの形態

[*2]ユーザENUM

ユーザが自分の電話番号とサービスの関係を規定するために用いるENUMの形態。インターネット電話事業者が、顧客の電話番号についてインターネットからの着信に用いる場合も含む。

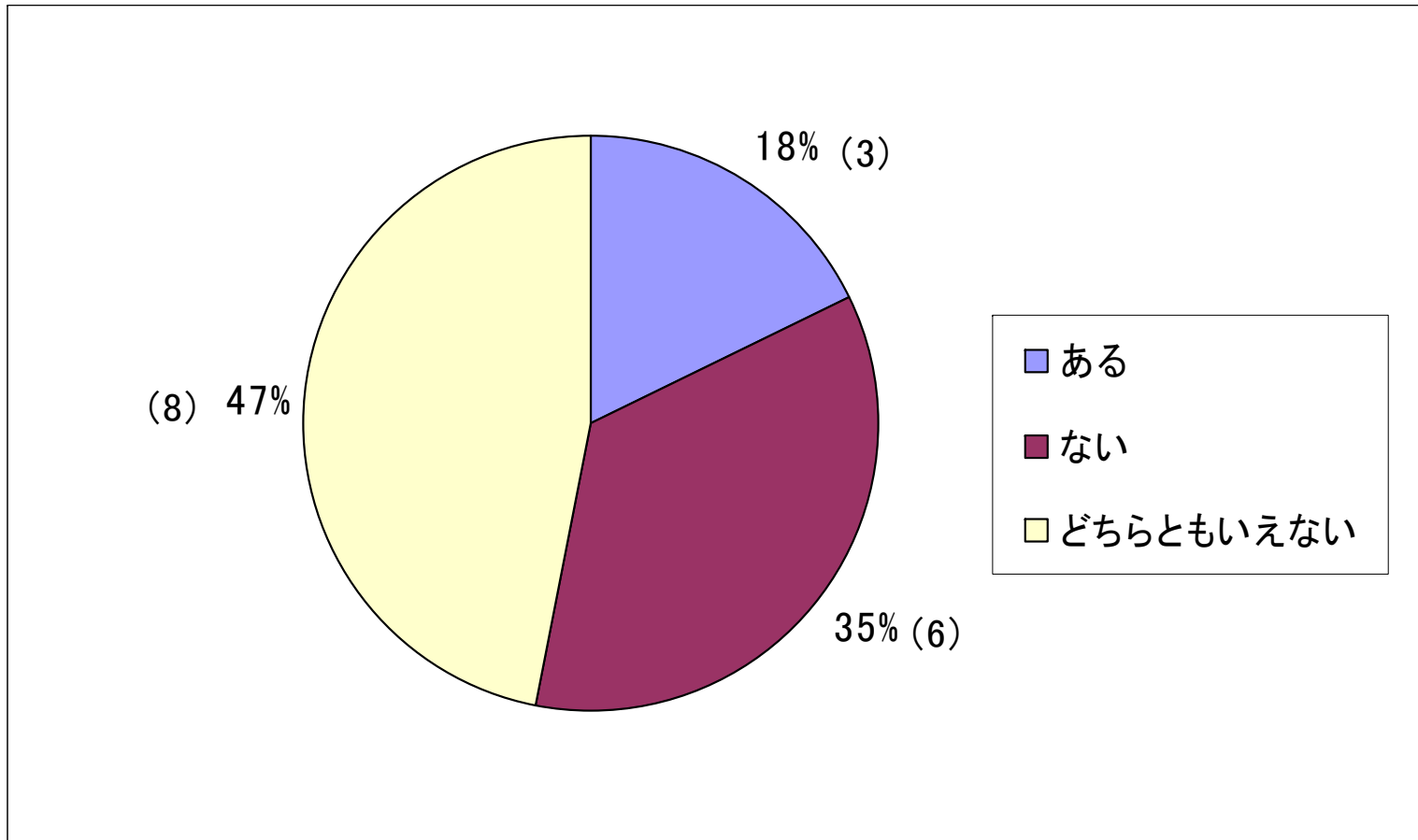
1.ENUMについて

1-3) ENUMが普及したときの利用イメージを持っていますか。



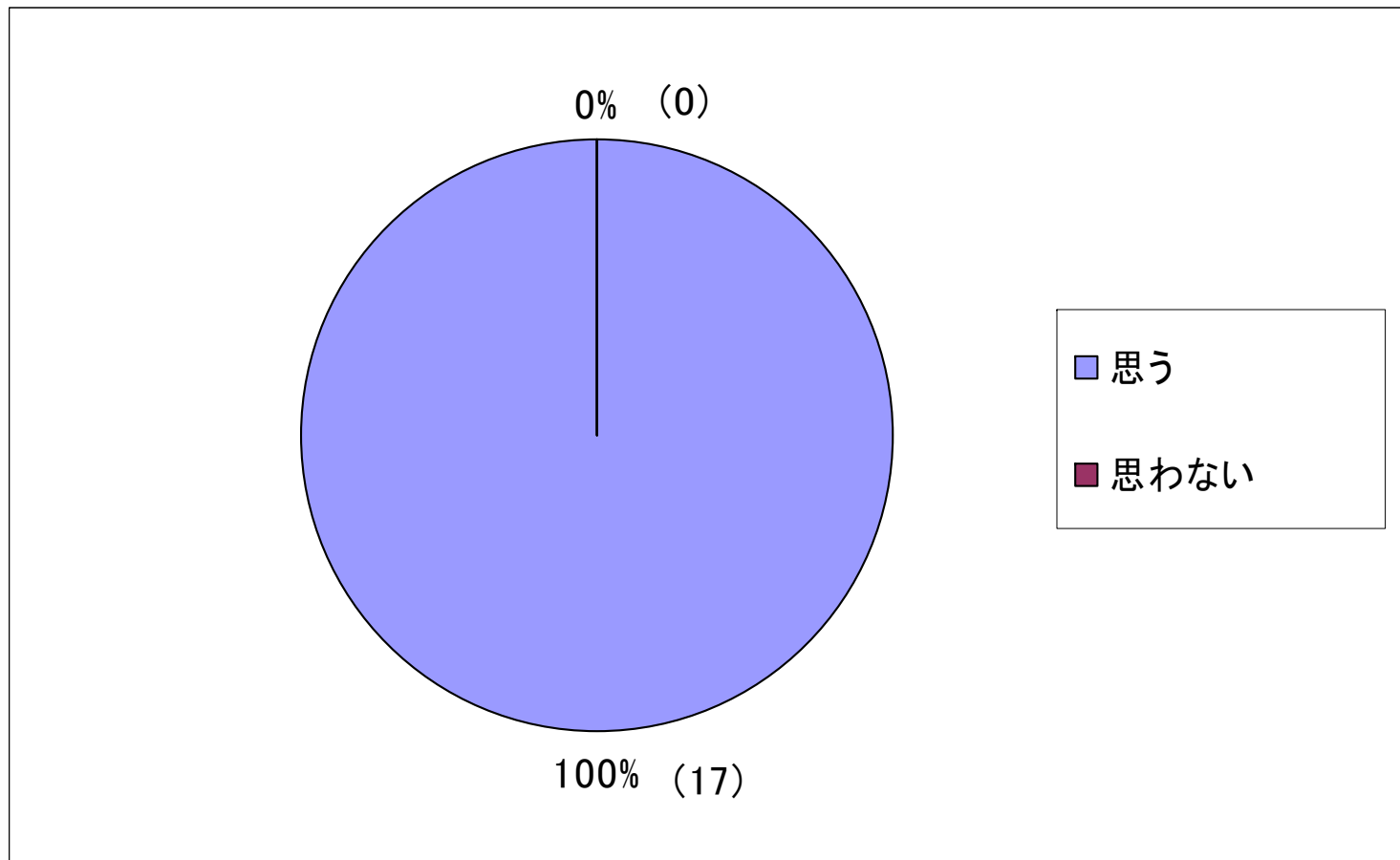
1.ENUMについて

1-4) ENUMを使ったアプリケーションやサービス開発の予定はありますか。



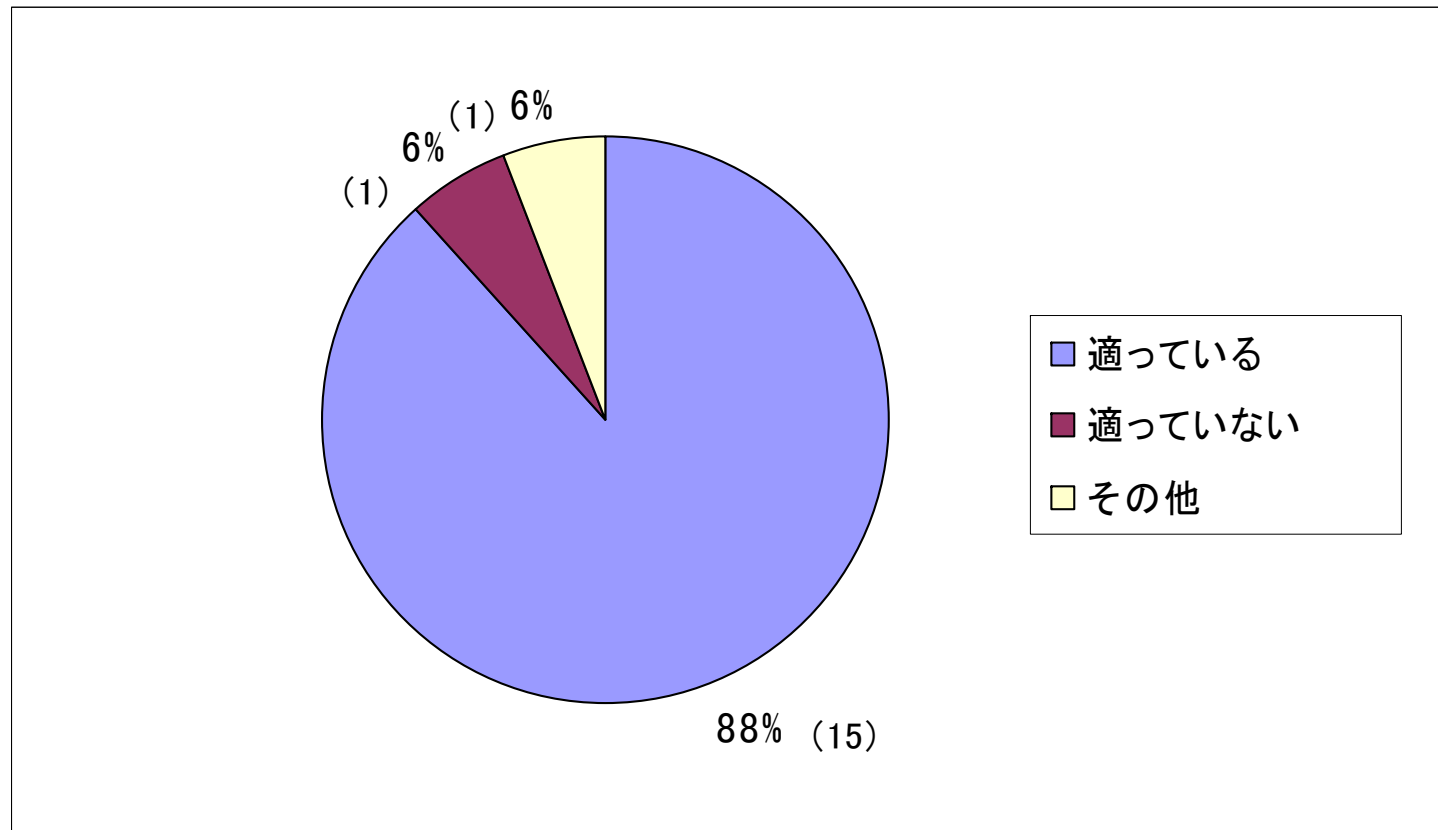
1.ENUMについて

1-5) ①ENUMに関する情報共有をする場が必要と思いますか。



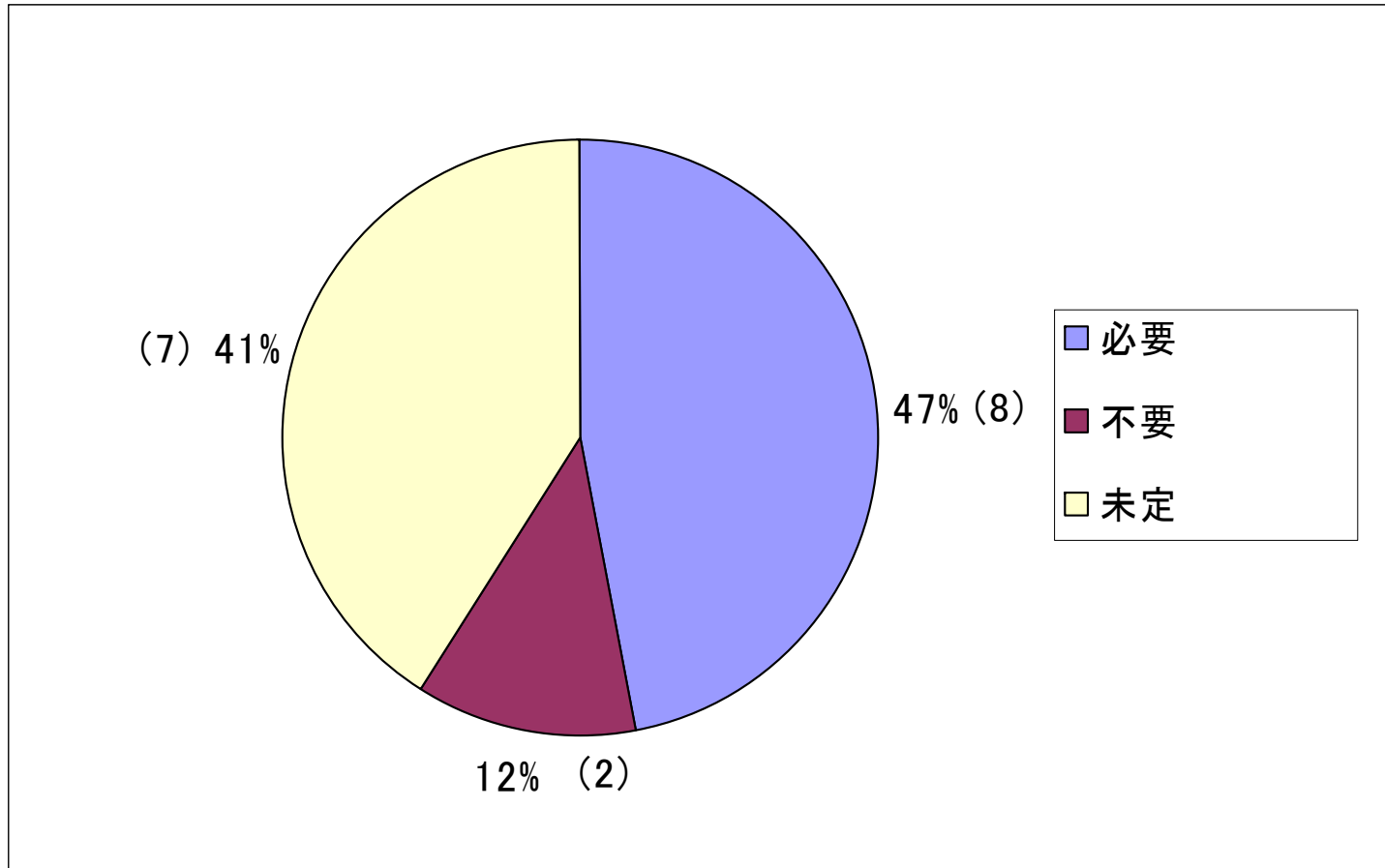
1. ENUMについて

1-5) ②ENUMに関する情報共有をする場が必要と「思う」場合、ETJPはその目的に適っていますか。



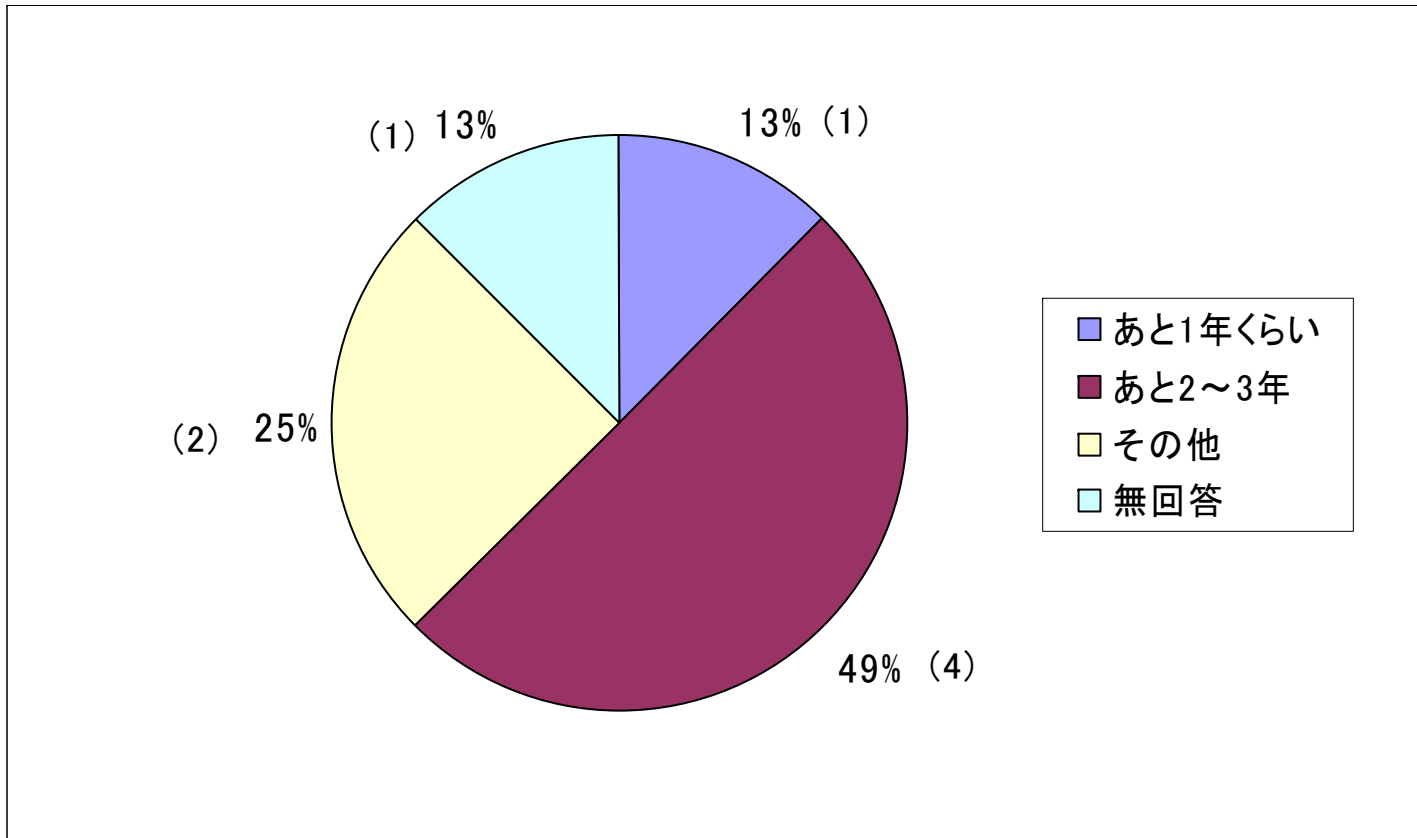
2.ETJPについて

2-1) ①1.8.e164.arpaのENUM番号は必要ですか。



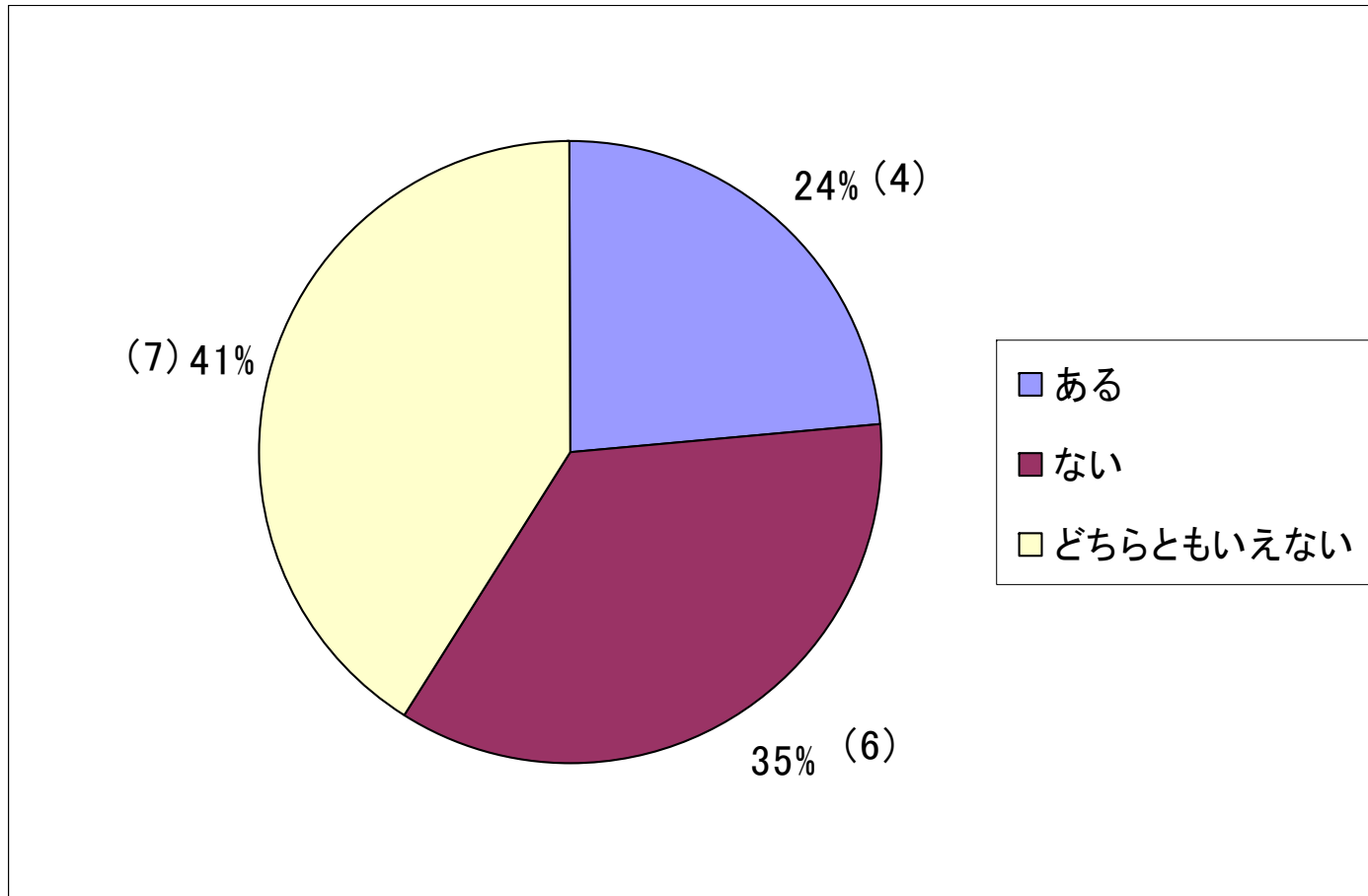
2.ETJPについて

2-1) ②1.8.e164.arpaのENUM番号が「必要」な場合、国際接続実験環境はあとどのくらいの期間必要と思いますか。



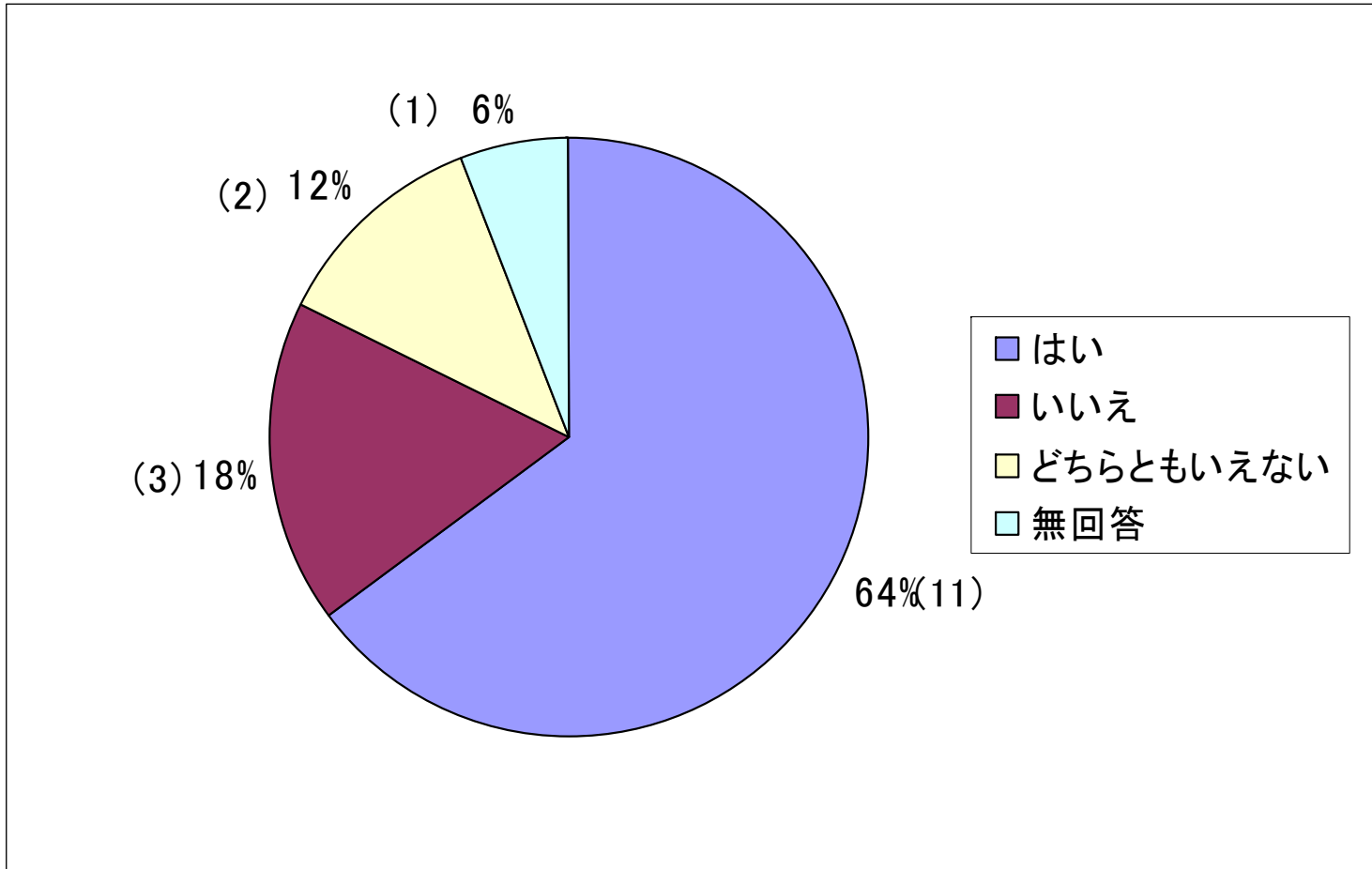
2.ETJPについて

2-2) ETJPの枠組みの中で実験を行う予定はありますか。



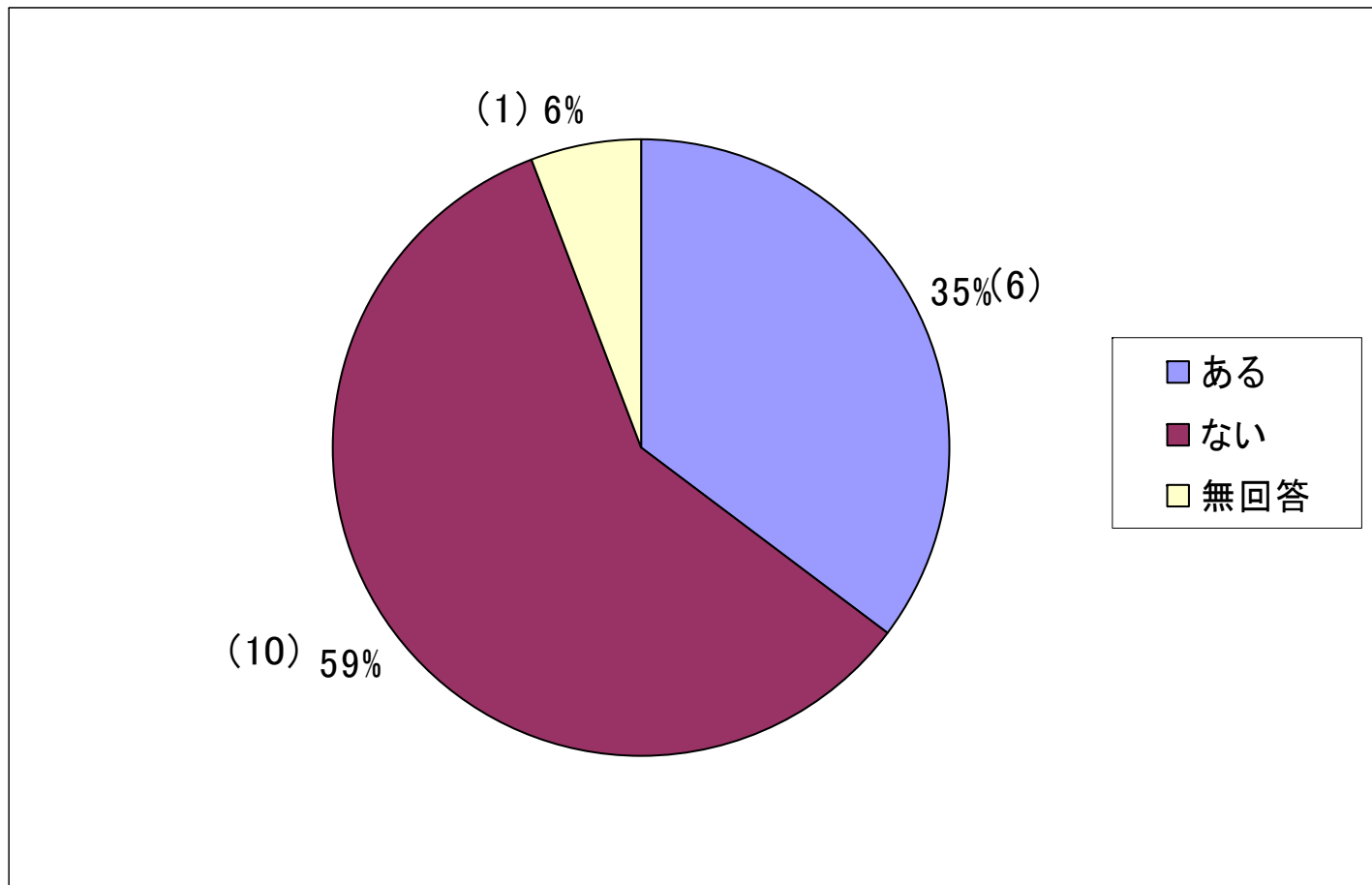
2.ETJPについて

2-3) ETJPでの活動は有意義ですか。



2.ETJPについて

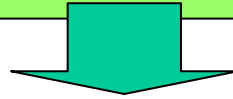
2-4) 今後の進め方についてご意見はありますか。



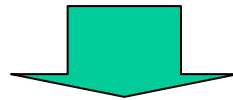
- 将来ENUMは普及すると思う
 ➡ 多数
- ETJPは情報交換の場として有効
 ➡ 多数
- ETJPでの活動は有意義
 ➡ 多数
- 実験インフラ(ENUM-DNSなど)の場が欲しい
 ➡ 多数
- もっと課題整理や実験への取り組みが欲しい
 ➡ 少数

情報交換の場、実験インフラの場としては有効との意見が多い。

「もっと課題整理や実験への取り組みが欲しい」など、もう少し活発にというご意見をお持ちの会員あり。



事務局がそれら会員の具体的意向を個別にヒアリングさせていただきます。



ヒアリングと本日のディスカッション結果を基に、今後の活性化の方法を検討させていただき、会長、副会長、事務局でまとめさせていただきます。



ディスカッション